



## ペットボトルでニジマスを飼おう

### 【用意するもの】

※えさは必要ありません

- ☆ ニジマスの卵(中に目が見えている“発眼卵”) 10粒程度
- ☆ 500ミリリットル容量の空きペットボトル 2本  
水槽用ペットボトルと水替え用ペットボトル
- ☆ エアポンプ 1個  
金魚やメダカ用。最も小型のもの(500～800円)でOK
- ☆ エアーチューブ 1本(長さ50cm)  
エアポンプに取り付けられる太さのもの
- ☆ ストロー 1本



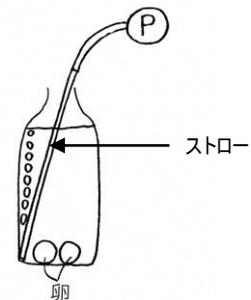
### 【飼い方】

※温度変化が少なく涼しい場所(玄関・廊下・陽のあたらない部屋)で飼ってください

- 1 2本のペットボトルに水道水を入れ、涼しい場所に一晚置く
- 2 エアポンプにエアーチューブとストローを付け、水槽用ペットボトルに差し込む(図のとおり)
- 3 水槽用ペットボトルにニジマスの卵を入れる
- 4 1～2日に1回、水を交換する
  - ・ 水槽用ペットボトルから、1/3～半分の水を捨てる(卵を捨てないよう注意！)
  - ・ 水替え用ペットボトルの水を水槽用ペットボトルに入れ、満水にする
  - ・ 水替え用ペットボトルに新しい水道水を入れ、満水にする(次回使う)

### 【観察してみよう】

- ☆ 卵からふ化するようす  
(卵を出る時のようす、卵の殻の破れ方など)
- ☆ ふ化した稚魚  
(色、形、心臓の動き、血液の流れなど)
- ☆ 成長のようす  
(栄養の袋の大きさ、泳ぎ方、体のもようなど)



ペットボトルの組み立て方



### 【ニジマス豆知識】

- ・水温:ふ化までは4～14℃、稚魚は4～20℃で飼うことができます
- ・成長:水温が高いほど速く、低いほど遅くなります(ふ化までの日数も同じ)
- ・えさ:生まれてからしばらくの間は、お腹の栄養で成長するので、えさは食べません
- ・稚魚:成長すると栄養の入ったお腹の袋は小さくなり、水中を泳ぎだします
- ・飼育を始めてからえさを食べ始めるまでの日数は、(500÷飼育水温)日で計算できます